
平成27年度予算第二特別委員会質問要旨

○ 局別審査 平成27年3月2日

質問者（質問順）

- 1 古谷靖彦委員（共産党）
- 2 草間剛委員（自民党）

温暖化対策統括本部

局 別 審 査

1 古 谷 靖 彦 委 員 (共 産 党)

1 横浜市エネルギーアクションプランについて

- (1) 横浜市地球温暖化対策実行計画と横浜市エネルギーアクションプランの関係について伺いたい。
- (2) 横浜市エネルギーアクションプランによって、横浜市地球温暖化対策実行計画を具体化したといえるかどうか伺いたい。
- (3) 温室効果ガスの削減目標を年度ごとではなく、5年間の目標としているのは、なぜか伺いたい。
- (4) 1年毎で難しければ、5年後でも難しいと考えるがどうか。
- (5) 太陽光発電の年度ごとの目標を掲げていないが、これで実効性があると考えているのか見解を伺いたい。
- (6) 目標達成のために年度ごとの目標を立てる必要があると考えるがどうか。
- (7) 公共施設への再生可能エネルギーの導入を強力に進めるべきと考えるがどうか。
- (8) 再生可能エネルギー導入ポテンシャル調査は、公共建築物に限定することなく、全ての建築物で実施すべきと考えるがどうか。
- (9) 低炭素交通システムの構築に向けて積極的に取り組むべきと考えるがどうか。
- (10) G30のように市職員が積極的に普及啓発を実施すべきと考えるがどうか。
- (11) 脱温暖化条例を制定すべきと考えるが、何が障害でできないのか伺いたい。

2 草 間 剛 委員（自民党）

1 水素エネルギーの活用促進について

- (1) 水素ステーションについて、1区1か所の整備を目指していくべきと考える
が見解を伺いたい。
- (2) 燃料電池自動車の市内普及台数について、新たな目標を設定すべきと考える
が見解を伺いたい。
- (3) 産業部門など新たな分野における水素活用の展開について伺いたい。